



Keurig Coffee Makerの分解と洗浄方法

このコーヒーマーカーの修理で一番問題となるのは、タンクからスクリーンを外すためにロングタイプの#2プラスネジが必要なことです。それと、2つのネジを上蓋に取り付けなければなりません。最終的にはKeurigを上下裏返してネジを再装着するために、重力を利用しました。

作成者: oldturkey03



はじめに

Keurig のシングル用コーヒーメーカーのブリューイングシステムには問題があるようです。しばらく時間が経過すると、使用するに従って生じてくる汚れなどが、コーヒー一杯が約355mlという適切な量を作れなくします。またコーヒー 1 杯ができるまでに時間がかかり、Keurig から騒音が出はじめます。最終的には約118ml以下のコーヒーしかできなくなります。これは”手間暇かからず、汚れあり”の洗浄手順です。

ツール:

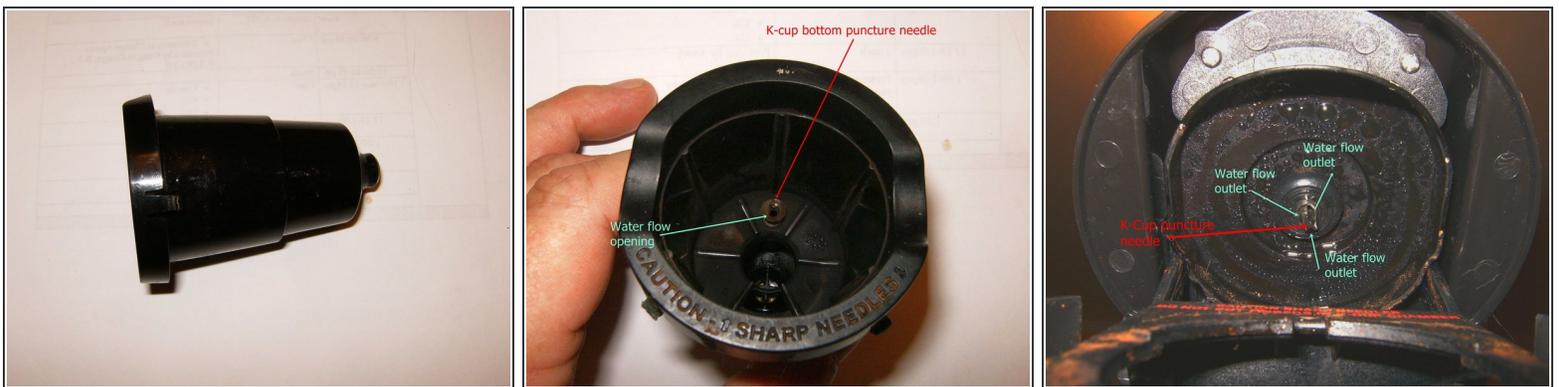
- [プラスネジ#2ドライバー](#) (1)
- [Paper Clip](#) (1)

手順 1 — Keurig Coffee Makerの分解と洗浄方法



- Keurig K40が適切なコーヒ一杯の量12ozを作れません。
- K-cupホルダーを取り出せるまで、Keurig の蓋を開きます。
- K-cupのホルダーを単純にまっすぐ引き上げます。ネジのクリップから少し抵抗があるかもしれませんが。ボロボロと取れる汚れは、再利用できるK-cupフィルターから取れたコーヒーです。

手順 2



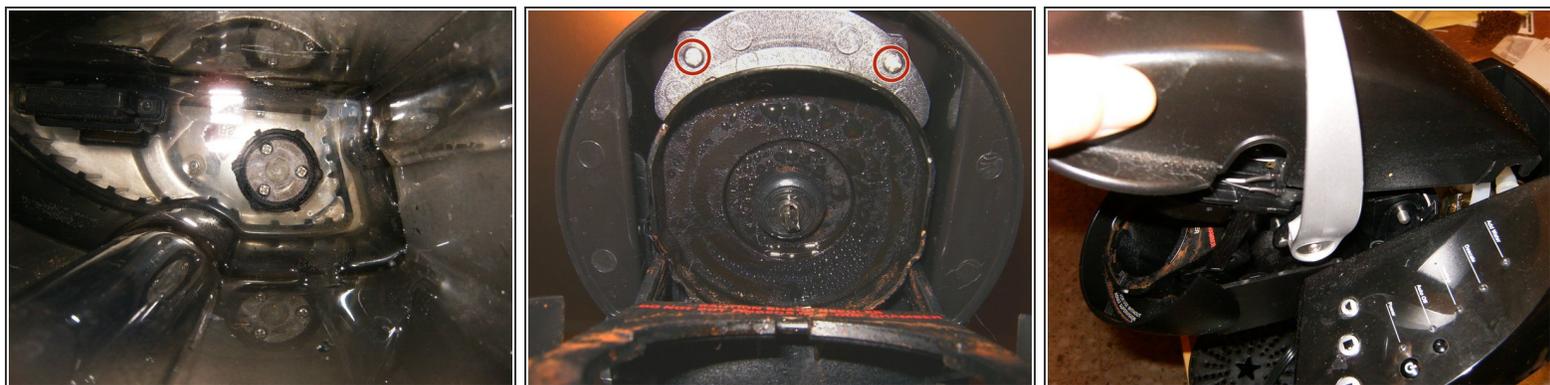
- K-cupのインサートが取れました。水で綺麗に洗浄してください。
- K-cupインサートの底は先細い針が付いており、これがK-cupの底に穴を開けます。この反対側は小さな穴担っています。紙用クリップ (もしくはこれより小さいもの) を使ってコーヒーの削りかすなどの汚れを取り除くため差し込みます。
- 次に先端の針を洗浄します。しかしながら、針のある側に手が届きにくいいため、この作業は少し困難です。針の周辺には3つの穴があります。Keurigの蓋を全開し、再び紙用クリップ(または類似したもの)を使用します。

手順 3



- 注射用針や類似したものも排水口を開けるために利用できます。
- 次にタンクを持ち上げて取り出します。
- タンクの内側底からバルブを簡単にチェックでき、ここからタンクを取り外すことができます。それからタンクの中身を空にします。

手順 4



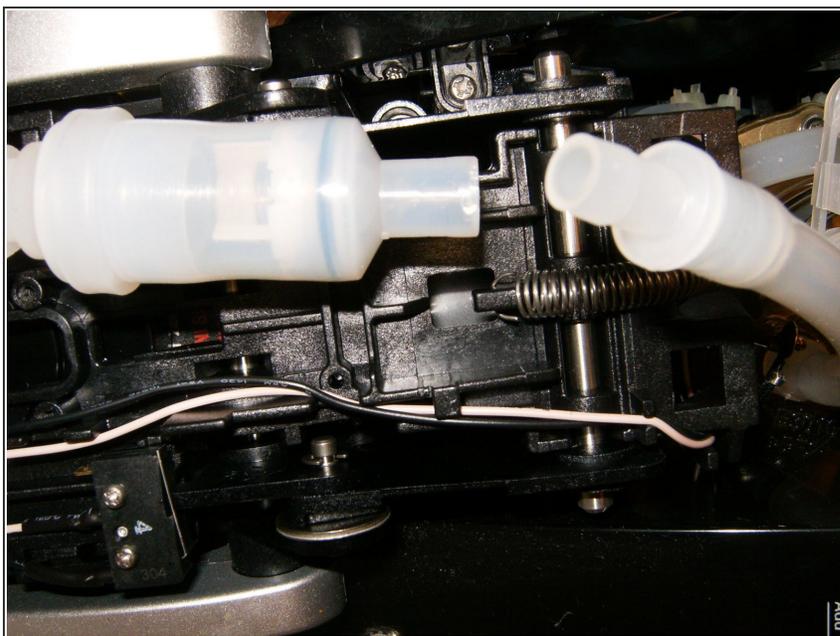
- 底部のチェックバルブの上部。フィルタとして機能する細かい網目があります。長い2番のプラスドライバーで3本のプラスネジを外して取り外します。流水中のブラシでをきれいにします。清掃後、組み立てを行ってください。
- 次のステップは、トップカバーを外してK-cupへ水を供給することです。Keurigを開きます。所定の位置に固定している2本のプラスネジを取り外します。
- 上部カバーを持ち上げて前方に持ち上げて取り外します。

手順 5



- ボイラーからK-cup ニードルへの水の供給は、チェックバルブを通るホースを介して行われます。
- 水流を入口に向けて固定している2本の小さなネジを外します。
- K-cup の針上のコネクタから、水線を外します。簡単なプレスフィット式です。
- 次に、タイストラップを取り外します。(この作業は必須ではありません。)ポンプからホースの反対側端を取り外します。ホースの端を持ち上げるために、マイナスドライバーを使用しなければならない場合があります。

手順 6



- チェックバルブをテストします。ボイラー側から空気を吹き込むと、ボイラーが開きます。それを何回か繰り返して沈降物を浮かします。それはK-cup側からの温水をチェックバルブに流して振るのにも役立ちます。清掃が終わったら、チェックバルブとタイストラップを元に戻し、Keurigを再組み立てします。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。